

## 私学助成署名・請願 情勢を動かす目標と行動を！

各県で議論が進み、本部から提起した「必守目標」を超える意欲的な目標を設定する県が続いています。多忙化や賃上げの難しさの中で、だからこそ「私学を含む高校授業料無償化」と経常費助成 1/2 助成の実現をめざし、全国の運動が始まっています。情勢を動かす運動を私たちの手でつくっていきましょう。

## 国向け署名は11月末までに全国100万筆を目標に

**福岡** すずめる会事務局会議で目標を議論しました。今年度の生徒数から「目標が高いのでは？」という意見もありましたが、①授業料無償化実現のための大切な年、②いったん目標数を下げてしまうとそれに甘んじてしまう、ということから、必守目標の提起を1万筆上回る、昨年と同じ目標数に決めました。さっそくすずめる会ニュースに趣旨を記載し、理解を得ています。10月には北九州、福岡、久留米の3市で同時に、父母・高校生も参加しての街頭署名を計画しています。

**熊本** いつもと同じことをしていても変わりがないので、署名スタート集会をシンポジウム形式に変更。保護者のネットワークを広げるために6月に父母のつどいを実施し、シンポジウムへの参加を呼びかけました。7月のシンポジウムは多くの父母・高校生も参加し、会場をほぼ満員にしました。また、シン・ヤマグチ全私研で県向け署名のお願いができるよう、例年よりも早く署名用紙を作成しました。集約目標は、これまでの1.4倍を集めるにはどうしたらよいか、という視点に立って未配布単組への再度の交渉、各校の学習会の実施などを執行委員会で議論。「これまでと違ったやり方を模索しないと増えない」ということで、必守目標の2倍の3万筆を目標に決めました。全国的にも先進的な高校生主体の連続街頭署名は今年は7回を予定し、12月の高フェスに向けた準備も教員の体制を強化して始めています。

**宮城** 4月の組織拡大の目標議論と同様に、各単組の目標を出し合ってその合計を県目標とする議論をしました。その結果、前年実績の倍の2万筆超を目標に設定しました。11月末に向けた中間集約は、ほぼ毎週開催する中執会議で必ずおこなうようにします。

**愛知** 今年は署名は実施しませんが、代表による請願は実施します。加えて、請願が採択される県議会においては、父母・教員を組織し、傍聴席を満席にして採択を見届ける予定です。今年の運動の重点として「私学無償化」は半世紀にわたる私学運動の成果である。その共通認識を教師・父母・生徒に深め、来年度予算に向けて、私学助成の目的「父母負担の軽減」「教育条件の向上」を大きく前進させる！」とのことです。



**東京** 公私共同の「都民の会」署名スタート集会を9月6日に開催しました。当日は90人を超える参加で、会場のイスが足りなくなるほどの熱気に包まれました。情勢報告を聞いた父母からは「そんなことになっているとは知らなかった」「今年はがんばらなきゃ」という声が挙がりました。東京父母懇・すずめる会では、11月16日に「私学のつどい」を大東学園高校を会場に開催する予定です。

各県の「私学助成の方針と計画」を本部に提出してください。  
署名第1回中間集約:10/3(金)までに集約数を報告してください。  
9月末学費滞納調査:10/17(金)締め切り 至急回収の声かけを。